

2025年10月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 10月えんだより

10月聖句：「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです」

＜ペトロの手紙Ⅰ 4章10節＞

やっと秋の気配を感じる季節となりました。今年は100日以上が30度を超える真夏日となり、日本の魅力である四季の移ろいも、春や秋が短く、気温上昇や局地的な大雨による亜熱帯化が進んでいます。このまま異常気象が進むと、いつの日か園庭の畑にバナナの木が植わることがあるかもしれませんね。けれども、私たちの世代だけでなく、子どもたちが大人になった時、さらにその次の世代にまで、四季折々の自然の美しさを味わってほしいと願います。そのためにも、身近なところから環境について考え、行動していければと思います。

今月の聖句には「それぞれ、賜物を授かっている」とあります。聖書でいう賜物（カリスマ）は、一部の特別な人だけが持つものではなく、すべての人に与えられています。私たちはつい他人と自分を比べ、「隣の芝生は青く見える」と感じがちですが、神さまは一人ひとりにふさわしい賜物を与えてくださっています。平等に同じものを与えるのではなく、それぞれに異なる賜物を備えてくださっているからこそ、個性や違いが尊く、魅力となるのです。

先日の研修では、その賜物に気づくためのヒントとして「リフレーミング」を学びました。リフレーミングとは、物事の見方を変えて新しい角度からとらえることです。たとえば「飽きやすい」は「好奇心旺盛」、「気が短い・せっかち」は「頭の回転が速い」と考えることができます。日々の生活の中でも実践できる姿勢だと思います。

この聖句の続きには「神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい」とあります。一人ひとりが管理者なので、自分のモノとして持っているわけではなく、管理するよう神さまから預かっているのです。一人ひとりに違う恵みの賜物に気づき、その預かった賜物を用いて、分かち合い、仕え合い、助け合うことで生き、生かされるのだと思います。

先日の運動会はまさに、子どもたち一人ひとりの賜物が花開いた時間でした。がんばるチカラ、応援するチカラ、それを保護者の皆さんも一緒に見守り、成長を喜び合うことが出来ました。もちろん運動の場面だけでなく、日常の保育の中にも、その豊かな賜物は息づいています。私たちが“リフレーミングの目”を養い、子どもたちの賜物を共に喜び合える歩みを続けていきたいと願います。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書43章5節）

10月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	たのしいね／やりたいな	いっしょに／輝いて
	・保育者と一緒に祈ったり、さんびかを歌ったりする ・友だちに関心をもち、一緒に楽しむ場面が増える ・少しずつ変わっていく季節を感じる ・自分の好きなことを繰り返し取り組み、友だちの遊びにも関心をもつ ・夏から秋へと変化する季節の中で、戸外での活発な遊びを楽しむ	・神さまがくださった心と身体、家族、友だち一人ひとりを大切に思い、感謝する ・歌ったり、踊ったり、作ったり、描いたりなど表現する楽しさをひとりでもまたは友だちや保育者と一緒に味わう ・季節の変化を感じながら、戸外で過ごす心地よさを味わうとともに室内でじっくり取り組むことを楽しむ ・神さまが一人ひとりを愛し、それぞれに違う賜物をくださっていることに気づき、互いを認めあえるように祈りながら過ごす ・一人ひとりの賜物が生かされ合わさると、とてもおもしろくなることや心強くなることを感じる ・気持ちの良い気候の中、体を動かし、戸外で遊ぶことを楽しむ
讃美歌	ちから 幼児讃美歌Ⅱ15 ・ わかちあおう	